

# 日本人の食事摂取基準 (2015 年版) 初版第1刷用 訂正表

本書中、追加事項と下線部分に訂正ございました。追加・修正をお願いいたします。

p.2	5 行目 11 行目として追加	BMI ⇒ BMI* *BMI = 体重 (kg) ÷ (身長 (m)) <sup>2</sup>	
p.14	3 行目	誤 (28 週 0 日)	正 (28 週 0 日～)
p.42	文献 27) のページ数	誤 110-39	正 109-50
p.64	表 5 基礎代謝量の主な推定式 FAO/WHO/UNU の式の 年齢 18～29 歳 推定式: 下段女性	誤 $(55.6 \times W - 1397.4 \times H / 100 + 148) / 4.186$ 正 $(55.6 \times W + 1,397.4 \times H / 100 + 148) / 4.186$	
p.65	7 行目	誤 表 5 のように算定した。	正 参考表 (p.73) のように算定した。
p.71	16 行目	誤 (表 8)	正 (表 10)
p.154	6 行目、7 行目	誤 生活習慣病の発症予防並びに重症化予防	正 生活習慣病の発症予防及び重症化予防
p.158	下から 3 行目	誤 一方、目標量の <u>上</u> の値は、	正 一方、目標量の <u>下</u> の値は、
p.166	下から 11 行目 下から 8 行目	誤 550 ～ 600 $\mu$ gRAE/ 日 800 ～ 850 $\mu$ gRAE/ 日 (≒ 550 ～ 600 × 1.4) 正 800 ～ 900 $\mu$ gRAE/ 日 (≒ 550 ～ 650 × 1.4)	正 550 ～ 650 $\mu$ gRAE/ 日
p.227	下から 5 行目	誤 丸め処理を行って 50mg/ 日とした。	正 丸め処理を行って 45mg/ 日とした。
p.247	下から 13 行目	誤 心房性ナトリウム利用ペプチド	正 心房性ナトリウム利尿ペプチド
p.269	4 行目	誤 リンの分子	正 リンの原子
p.337	銅の食事摂取基準 6～11 (月) の目安量 (男女とも)	誤 0.4	正 0.3
p.343	下から 2 行目	誤 発症予防並びに重症化予防	正 発症予防及び重症化予防
p.349	表 2 妊婦の目安量の設定状況 ビタミン K の妊婦の目安量 / 日	誤 (150mg) <sup>1</sup>	正 (150 $\mu$ g) <sup>1</sup>
p.351	表 4 授乳婦の目安量の設定状況 ビタミン K の授乳婦の目安量 / 日	誤 (150mg) <sup>1</sup>	正 (150 $\mu$ g) <sup>1</sup>
p.361	表 3 乳児の食事摂取基準(再掲) ミネラル・微量・銅の 6～8(月)・9～11(月)	誤 0.4	正 0.3
p.415	7 行目	誤 コレステロール摂取量が 400 mg / 日までの範囲	正 コレステロール摂取量が 400 mg / 1,000 kcal までの範囲
p.416	16 行目 下から 7 行目 下から 4 行目	誤 (図 4) (図 4) 減少を示している <sup>11)</sup> 。	正 (図 3) (図 3) 減少を示している (図 4) <sup>11)</sup> 。
p.422	図 2 栄養素摂取と高血糖との関連 (特に重要なもの)	誤 内臓脂肪型肥満 (インスリン拮抗性)	正 内臓脂肪型肥満 (インスリン抵抗性)
オリジナル資料 p.16	図 6 の説明文、下から 2 行目	誤 (HbA1c 濃度が 5.2%改善)	正 (HbA1c 濃度が 0.52%改善)

訂正・正誤等の追加情報につきましては、弊社ホームページ内にてご覧いただけます。

<http://www.daiichi-shuppan.co.jp>

(2016.3 1312-8)